

整形外科

当科では、常勤医師 1 名、非常勤医師 2 名の計 3 名体制で診療を行っています。

四肢、脊椎を中心とした運動器の骨、関節、筋、靭帯、神経に関する幅広い領域の疾患および外傷を対象としています。代表的な外傷としては、高齢者の転倒による大腿骨頸部骨折や大腿骨転子部骨折、手関節の骨折、日常生活動作でも生じうる脊椎圧迫骨折があります。その他、労働災害、交通外傷、若年者の運動にともなう外傷と多岐にわたります。一方、神経の圧迫により手足のしびれや痛みなどを生じる頸椎症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアに代表される脊椎疾患、関節軟骨の摩耗により関節の痛みを生じる変形性関節症などの慢性疾患や、特定の原因が明らかでない腰痛や肩こりの訴えで受診される方も多いです。MRI 検査、骨密度検査等検査体制も充実しており、早期診断が可能です。保存治療（手術以外の治療）でよくならない、あるいは保存治療よりも手術治療のほうが明らかに機能回復を見込める場合に手術を検討します。年間の手術件数は約 283 例でした。術後リハビリを含めて、可能な限りの早期対応を心がけています。

整形外科の対象疾患

- ・小児から高齢者までの四肢の外傷・骨折一般の診断（スポーツ外傷等）
- ・骨粗鬆症に対する治療
- ・脊椎疾患の保存療法、手術療法（脊椎圧迫骨折、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア等）
- ・痛風・慢性関節リウマチ・変形性関節症などの関節疾患に対する治療（人工股関節置換術、人工膝関節置換術等）
- ・先天性股関節脱臼、側彎症等の装具療法

整形外科で行う検査

- ・ X 線撮影（単純撮影、ストレス撮影）
- ・ 関節造影
- ・ 脊髄造影
- ・ C T（コンピュータ断層撮影）
- ・ M R I（磁気共鳴コンピュータ断層撮影）
- ・ 骨密度測定（C X D 法）

年間手術件数 283 例

手術内容	件数	手術内容	件数	手術内容	件数
大腿骨転子部骨折	46	脛骨高原骨折	5	手関節骨膜炎	3
大腿骨頸部骨折	45	腰部脊柱管狭窄症	5	手根管症候群	3
橈骨遠位端骨折	39	上腕骨骨折	4	尺骨幹部骨折	3
膝蓋骨骨折	13	母趾陥入爪	4	手関節骨折	2
踵骨骨折	11	大腿骨遠位端骨折	4	股関節人工骨頭挿入	2
母指弾発指	10	小指基節骨骨折	3	足軟部腫瘍	2
鎖骨骨折	10	脛骨腓骨遠位端骨折	3	脛骨幹部骨折	2
中手骨基部骨折	8	肘頭骨折	3	環指基節骨骨折	2
中指環指弾発指	8	環指弾発指	3	足関節脱臼骨折	2
上腕骨遠位端骨折	8	大腿骨骨幹部骨折	3	肩関節脱臼骨折	2
足関節外果骨折	7	環指末節骨骨折	3	示指軟部腫瘍	2
橈骨尺骨幹部骨折	6	鎖骨遠位端骨折	3	その他	4